



はやし よしかず
平成会 林 善和 議員

防災の取り組みについて

問 近年、多くの災害が発生しており、災害時の情報は命に重大な影響があります。戸別受信機が聞こえないとの市民の声がありますが、現状について伺います。

答 総務部長 合併前の防災行政無線システムを統合し、旧町村で全戸配布した戸別受信機を継続して使用しています。故障等があった場合は修理・交換等を行い、アンテナも設置していますが、聞きづらいとの声があることも承知しています。

問 防災行政無線システムの、今後の整備について伺います。

答 総務部長 現在のシステムは老朽化が懸念されるため、より有効な情報発信システムの導入についても検討しますが、当面は現行システムの運用と考えます。

問 自主防災組織の現状について伺います。

答 総務部長 自主防災組織は68組織あり、市民に対して講話等を行っています。組織の形骸化が懸念されます。

問 形骸化防止のための施策について伺います。

答 総務部長 自主防災組織や防災士の役割の重要性の説明をし、活性化を図っていきます。

問 災害時の対策本部と議会のあり方について市長の考えを伺います。

答 市長 防災・復興対策特別委員会にて、避難所運営ゲーム(HUG)研修をしていただき、非常に良い研修であったと思いました。災害時は議員の皆さんの情報等も共有し、適切に意思決定していく仕組みやシステムの構築が必要と感じています。



戸別受信機

農業強化について

問 農業は市の基幹産業であり、地域の優秀な担い手を育成し、継続・継承しなければなりません。近年、外国人の農業研修生が、市内の農家で

多くのことを学ばれており、農業発展のために欠かせない役割を担っています。外国人農業研修制度について伺います。

答 経済環境部長 我が国で培われた技術・技能等の習得・習熟を図り、経済発展を担う人づくりに寄与するものです。

問 地域農業の発展のため、この外国人技能実習制度を活用して、近隣市町と連携してはどうですか。

答 経済環境部長 農業技能実習生を受け入れる管理団体があり、この団体は営利を目的としない法人であることが必須です。本市においてもJ・A山武郡市が管理団体と連携し支援しているため、近隣自治体と情報共有を図り、本制度を活用したいと考えます。

問 農業サポート人材について、現在、国や県等から市へ仕事が多数多く移管され、各部署では業務量が増えていると聞いています。農林水産部門の職員が近隣市に比べ少ないと思います。業務量に見合う人員配置をすべきではと考えますがどうですか。

答 総務課長 平成30年4月に農林水産部門の人員を1名増員したところです。権限移譲等により全庁的に業務が増加していることは認識しています。来年度の組織の在り方と人員配置については、限られた人員を効果的・効率

的に配置できるよう努めていきます。

空家対策について

問 空家は近隣の環境を損なうばかりか、犯罪や火災、または有害鳥獣の住処となることが危惧されますが、対策について伺います。

答 都市整備課長 条例に基づき、管理不能状態の空家に対して、適正な管理に努めるよう指導します。また、空家等対策計画を策定し、法に基づき指導等を実施していきます。

問 農業と関連した空家バンクの運用をしてはどうですか。

答 都市整備課長 空家バンクに関しては、年度内設立に向けて進めています。登録された物件で、所有者とのマッチングを行う中で、就農者の方にも利用していただければと思います。

問 現在、区や自治会が管理している施設が多くありますが、建て替え等の支援制度について伺います。

答 市民部長 地域社会における触れ合いのある生活育成のため、施設整備の一部を助成する補助制度があります。

